

「第2回まちづくり市民会議」議事要旨

○アドバイザー・事務局含め全45名中、35名参加

○以下、次第に即して記載

(1) 協議事項

①今後の会議開催日時に係る委員意向確認について

平日夜間での開催を基本とすることとした。

⇒特に意見等無し

②キックオフ・フォーラムの詳細について

配布資料②をもとに、当日の流れや委員の役割について説明。

各委員の具体的な役割分担については、各委員の意向を踏まえ調整し、別途通知することとした。

⇒特に意見等無し

③FMあいづへの出演（毎月1回予定）について

委員間で分担の上、市民会議活動を広く周知していくことを目的に出演の旨、説明した。

⇒特に意見等無し

(2) 説明事項

・先進自治体の自治基本条例制定事例（上越市）について

委員の自治基本条例に係る理解を促すために、上越市の事例について配布資料③をもとに説明した。

【質疑応答】

委員)

上越市は約3年間で68回の会議を行って条例を作っている。当市民会議はどういったスケジュールで進めていく考えか？

⇒事務局回答)

市民会議は条例ありきで議論を進めていくものではない。先進自治体の取組を学ぶとともに、条例の必要性に係る議論を丁寧に重ねていくことが必要と考えている。

(3) グループワーク

・各グループからの発表内容：別添参照

【質疑応答】

委員)

グループ分けはどういった基準で行ったのか。市職員委員のグループ配置等を含めグループ編成に問題があると思う。

⇒事務局回答)

グループ分けについて、所属や立場に依拠したものとはしていない。今後のグループ編成について持ち帰り検討したい。

(4) 会議総括（市民会議 薄議長）

- 発表内容より、身近な地域課題が共通（若者が少ない、高齢者の見守り等）していることを垣間見ることができた。
- 町内会の担い手不足や後継者不足など、若者が少ないことが原因。
- 地域内でのコミュニケーションを向上させていくためにも、どうやってコミュニティの強化を図っていくか考えていかなければならない。
- 行政には様々なツールを活用し、市民とのコミュニケーションとしての情報発信が求められる。
- 様々な課題を解決するために、こういった条例を作ればよいのか今後議論を深めていきたい。

以上